

第7回みよし未来環境会議

ワークショップ かかわらん

2023年12月23日(土)13:00~15:45

会場 三次市役所6階601会議室

参加者 神田日向、岩倉伊吹、梅木亮汰、兒櫻浩介、井上海太

欠席者 谷藤拓真、白根瑞紀、下岡快成

講師 藤山浩 ((一社)持続可能な地域社会総合研究所)

第7回みよし未来環境会議は、これまで学んできたことを生かしながら、『2050年日本中が食糧危機に見舞われる』という厳しい未来を迎えることを想定した「最悪のシナリオ」とその要因を考える時間でした。「輸入できなくなる」「国内生産ができなくなる」の2つの視点からその要因を深掘り、私たちの今の暮らしを続けることで最悪のシナリオが現実になりうるということがわかってきました。そのことに気づいていない人々、気づいているけど何もしない人々を変えるためには、危機感・現実感を持つために「実感・体験できる機会」、そして得た経験などを「共有する場」、そしてしっかり対策を行うための「計画」が必要ではないかとまとめの方向性が見えてきました。次回(最終回)では、より具体的にやるべきこと・三次市だからこそできることを考えていきます。



事務局
藤山氏より

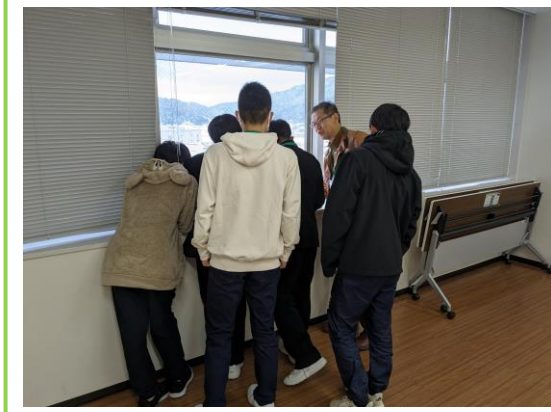
環境問題の解決には、「気づいていない」、「気付いてもやらない」という二重のハードルがあることが見えてきましたね。



2050年日本は食糧危機に!?

今日はこの起こりうる仮説から考えていく。日本の食料自給率、人口減少、農業の担い手の高齢化、何もしなければ未来は大変なことになる。

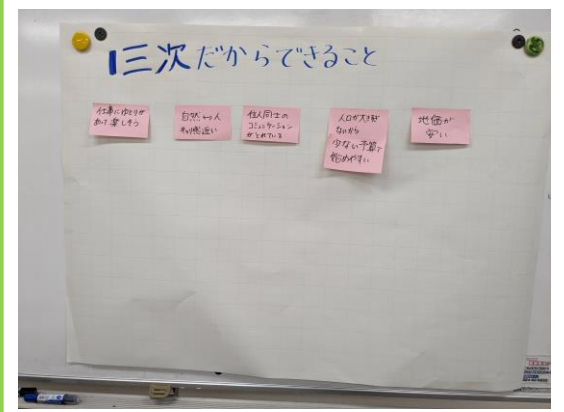
13:00



家の窓は2重窓か?

窓を2重、3重にすると、初期費用は大きくなるが、長い目でみると環境的にも経済的にもお得。こうした工夫を私たちはやっているだろうか。

13:40

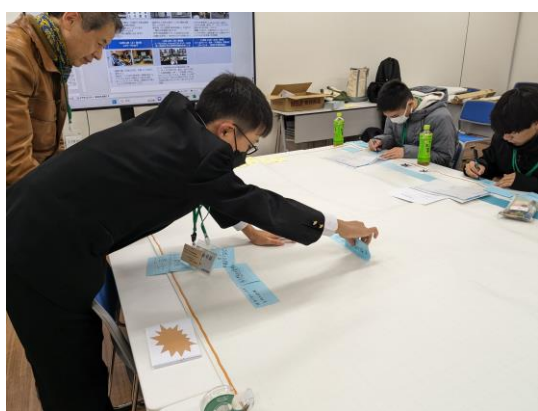


だったらどうするか

要因が自分たちにあるのなら、それを変えるにはどうしたらいいかを考えた。来週は三次だからできることをより具体的に考えていく。

15:30

15:45



最悪のシナリオを考える

これまで学んできたことを生かし仮説に向かう最悪のシナリオを考えた。地球温暖化、戦争、日本の人口減、担い手不足、経済の弱体化、etc



最悪のシナリオの要因

私たちの今の暮らしが最悪のシナリオに関係していないか。要因は今の自分たちや周りの大人たちの行動や考え方の中にあった。



終了後のお楽しみ

頭を使った後は甘い物が嬉しい。課長さんから嬉しいサプライズがあり、皆でデザートをいただいた。さあ、来週もがんばろう!

サステナアンバサダーから一言

※欠席者は後日フォローを行い、当該回の内容についてコメントをいただくようにしています。



神田さん

未来の危機はすぐそこまできていて、手遅れになる前に対処する必要がありますと分かりました。



谷藤さん

最悪のシナリオの原因は、意外と多く、原因同士が繋がっていることに気づきました。



白根さん

話し合うことで自分にはなかったことが知れてすごく良かった。



梅木さん

「最悪の未来」を現実にはしないためにも、自分たちだけでなく、周りの大人たちも対策を意識すべきだと思った。



岩倉さん

気づいているけど行動にうつせていない人たちがほとんどだと思うので、このままいくとどうなるかしっかり伝えたいです。



兒櫻さん

未来の危機への対策として、自分が「コイツはやばいぜ」と思うことが重要なので、疑似的に体験できる施設をつくと良いと思う。



下岡さん

自分のことや三次、世界、自然界の悩みを考えて、一緒に話し合った二人の意見を聞いて視野が広がりました。



井上さん

連鎖的に問題が起きているんだと気づきました。この連鎖を解決するには問題の中心をつぶすことも方法の一つではないかと思いました。

※「サステナアンバサダー」とは、みよし未来環境会議に参加している市内の中学校、高校に通う生徒8名のことです。